



# IMF の役割とグローバル金融危機後 の世界経済

IMFアジア太平洋地域事務所  
木下祐子

東京工業大学大岡山キャンパス

2013年4月15日

# 講義の内容

- ❖ IMFの役割と機能
- ❖ 危機
- ❖ 世界経済の現状
- ❖ 日本とIMF



# IMF のルーツ





IMFの創設者



## 今日のIMF

スタッフ数：  
2,500人（160カ国  
より）  
日本人スタッフ 約3%

# 世界に広がる加盟国

188 加盟国

非加盟国: キューバ、北朝鮮、アンドラ、モナコ、ナウル、リヒテンシュタインなど

# マンデート: 世界の経済及び金融の安定性

短期的な国際収支支援

貿易の拡大、高水準の雇用と所得の推進

# 多国間主義の中心

経済協力の推進

国連、世界銀行、WTO、ILOを補完



• 総務会

188名

• 年1回

• 国際通貨金融委員会

24名

年2回

• 理事会

24名

週3回

IMFの機能

# クォータとは？

\ 'kwō-tə \

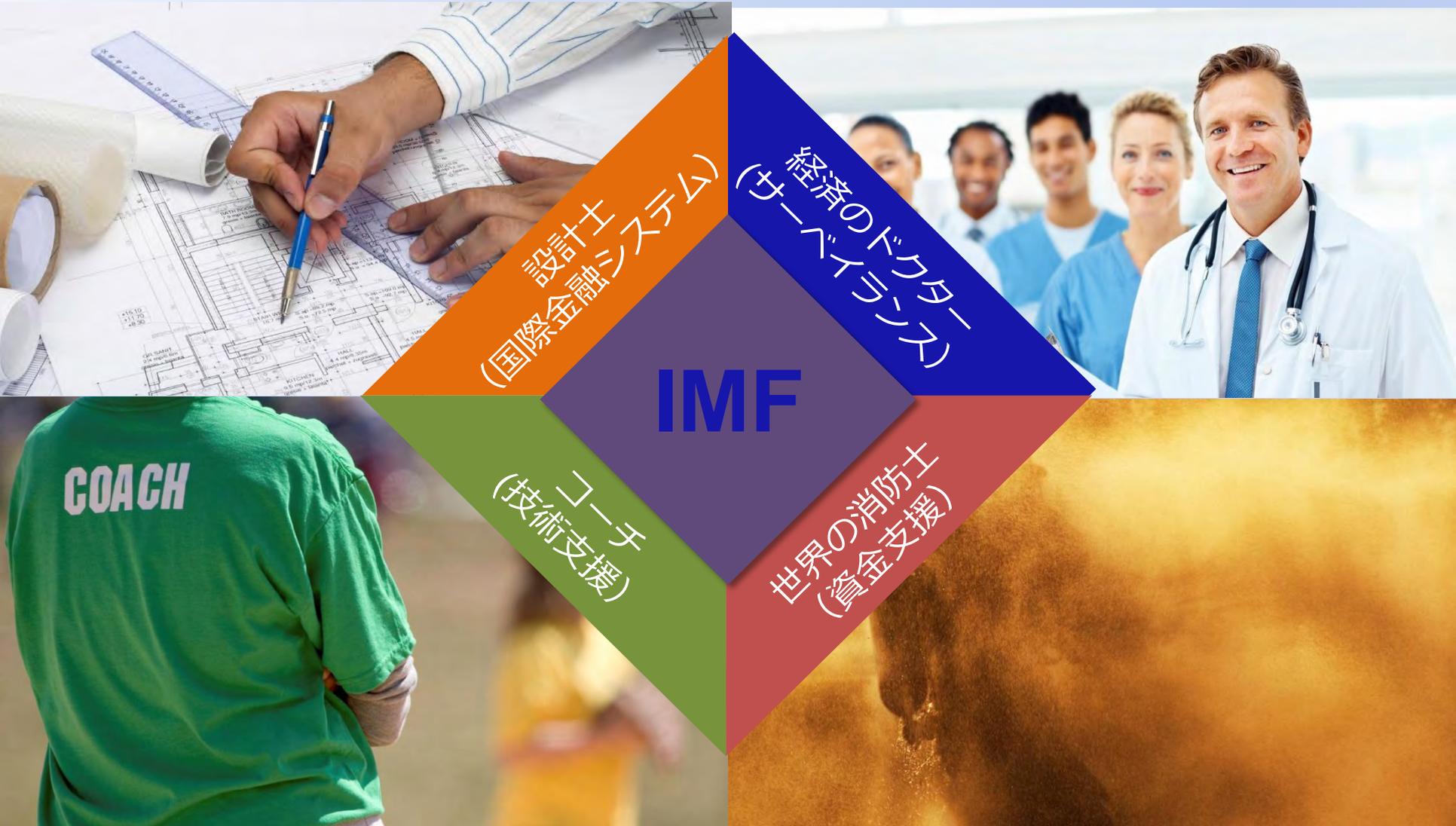
- ◆ 加盟国による出資金
- ◆ 議決権
- ◆ 融資へのアクセス

# マネジメント

- 専務理事 1
- 筆頭副専務理事 1
- 副専務理事 3



# IMFの仕事内容





•経済のドクター

国別、地域レベル、世界  
レベル

真実を厳しく伝える

システミックな国々 /  
国境を越える影響

サーベイランス

# 融資

非譲許的融資

危機の管理と防止

•世界の消防士

譲許的融資

加盟国のニーズに合わせて調整

コンディショナリティー

柔軟かつ重点的、社会的側面に配慮

資金支援



COACH

•コーチ

技術支援

強力な政策は、強固な  
基盤の上に。

地域技術支援センター

技術支援

# ガバナンス

6%

新興市場国と途上国へ、議  
決権がシフト

BRICs、10大出資国入り

世界の实態を反映した、グローバルな組織

# アウトリーチ

- より幅広い交流



# IMFミッションインポシブル





# 危機

- 貿易・金融経路を通し、全世界に拡大
  - 3,000万人が失業
  - 6,400万人が極度の貧困に
- 協調により、世界恐慌の再来を回避
  - G-20
  - 財政出動
  - IMF融資



# 世界経済危機：先進国から途上国へ

## 先進国



貿易縮小、資本フロー停止

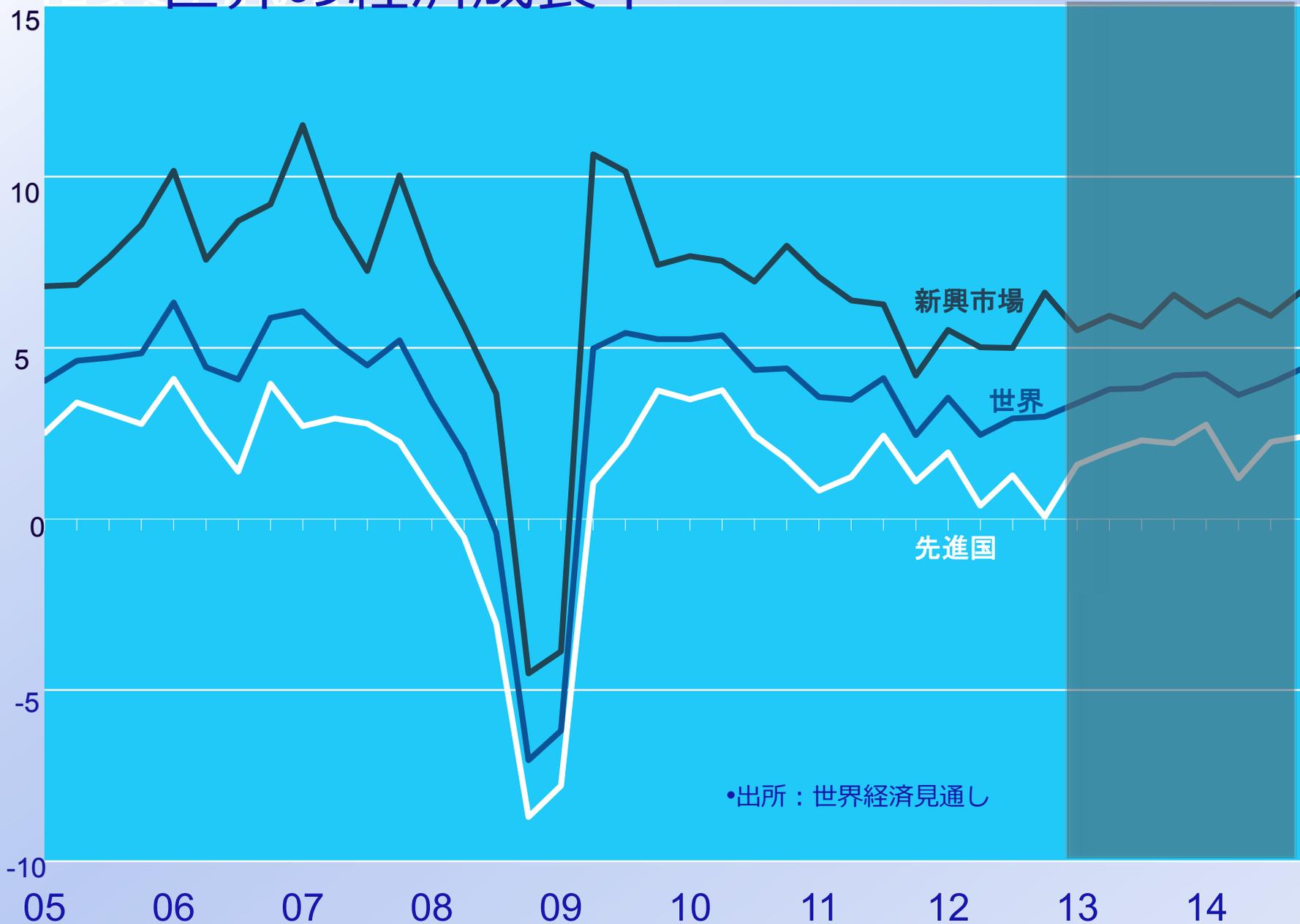
## 新興国



## 途上国



# 世界の経済成長率



# 経済の主な課題

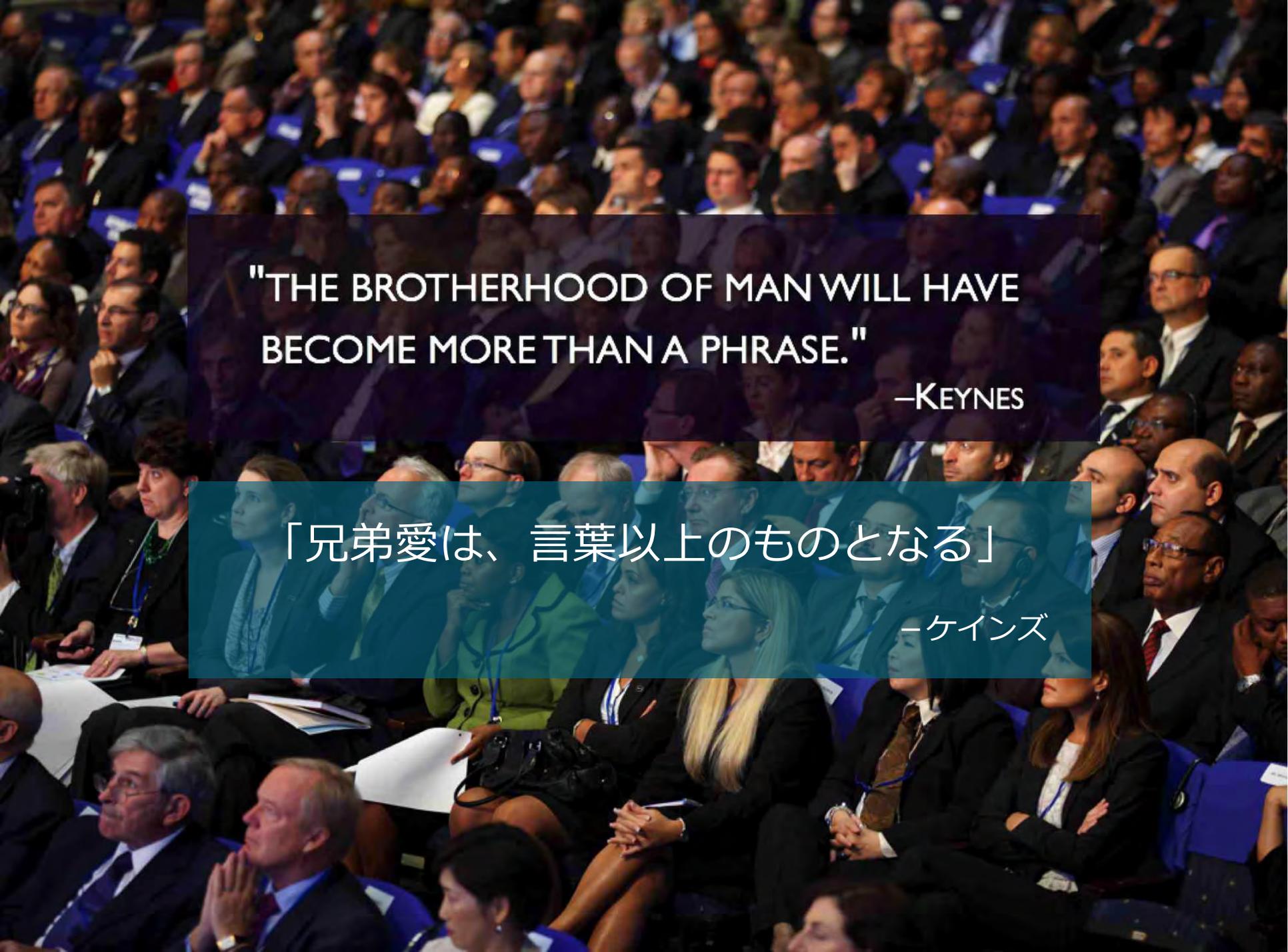


- ❖ ユーロ圏の危機の解決および危機管理体制の強化
- ❖ 先進国における財政再建、金融部門の強化、成長維持
- ❖ 国際協調を確保し、世界経済の不均衡是正
- ❖ グローバル・ファイナンシャル・セーフティーネットの拡充

# 社会的側面

- 失業
- 不平等
- 包摂的成長





"THE BROTHERHOOD OF MAN WILL HAVE  
BECOME MORE THAN A PHRASE."

—KEYNES

「兄弟愛は、言葉以上のものとなる」

—ケインズ



# 日本とIMF

- 1952年に加盟（2012年で加盟60周年）
- 現クォータ = 6.6%（第2位）
- 世界危機の際には、IMF財源強化に迅速に対応
- IMFの貧困国向け融資プログラム最大の拠出国
- IMFの技術支援活動の強力なパートナー
- 2012年 IMF・世界銀行の年次総会ホスト国



# IMFでの雇用機会

## 長期:

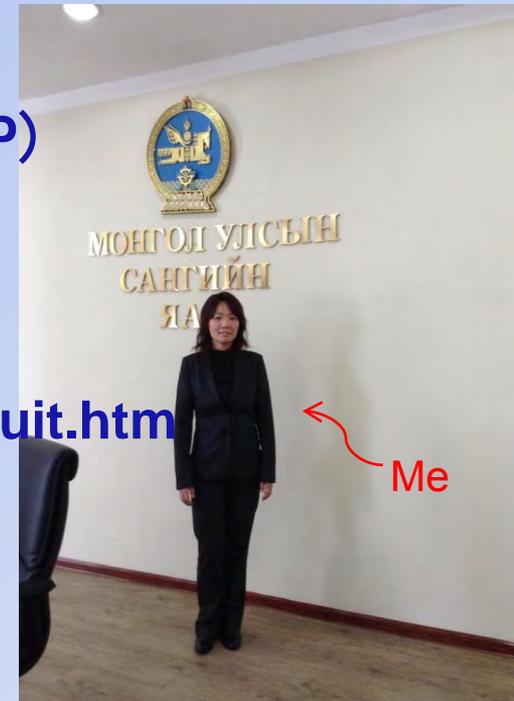
- ❖ エコノミスト プログラム (EP)
- ❖ ミッドキャリア プログラム (中途採用)

## 短期:

- ❖ リサーチアシスタント プログラム (RAP)
- ❖ ファンドインターンシップ プログラム (FIP)

## IMF採用ページ:

<http://www.imf.org/external/np/adm/rec/recruit.htm>





# 夏季インターンシッププログラム

IMFアジア太平洋地域事務所(OAP):東京

- ❖ 期間: 7月から9月までの6週間~8週間
- ❖ 募集時期: 5月-6月
- ❖ 内容: 有給インターンシップ
- ❖ 職種: エコノミスト、広報(各1名)
- ❖ 応募資格
  - 大学院生(修士課程)
- ❖ 2011年OAPインターンシップ募集要項

<http://www.imf.org/external/oap/pdf/si2011j.pdf>



# Japan-IMF 奨学金プログラム

- ❖ 海外でマクロ経済学博士号を目指す日本人を対象とした2年間の奨学金制度（日本政府が資金を提供）
- ❖ 全ての奨学生は、学業終了後、IMFの採用試験に応募することが求められる

<http://www.imf.org/external/oap/jpn/indexj.htm>

